



羅針盤

豊中市立第五中学校
2018年度 第65期生
進路指導委員会発行
12月21日 第51号

今後の進路に関する日程と注意事項について

12月懇談も終わり、受験校も決定。さあ、あとは迷うことなく「受験勉強あるのみ！」という多くの人にとって初めて経験する冬休みに突入となります。まずは、今後の予定について確認しましょう。

☆今後の進路に関する日程

冬休み中	○公立高校入試自己申告書の下書き完成 ○紙願書で私立高校に出願する場合 受験する私立高校で願書を受領→何も書かずに1/8始業式後に担任の先生へ提出 ○Web出願登録システムを活用して私立高校に出願する場合 受験する私立高校のWebサイトで登録→確認書を印刷し1/8始業式後に担任の先生へ提出
1/10(木)	第4回実力テスト
1/11~1/21	私立高校願書作成
1/23(水)	私立高校願書精査（3年生のみ午前中授業）
1/24~1/25	学年末テスト
1/25(金)	私立高校出願
1月下旬~	公立高校願書作成・自己申告書清書
2/1~2/7	第5回進路希望調査 ○12月の懇談内容をふまえ、受験校を記入します。
2/9~2/10	私立高校入試
2/13(水)	公立特別選拔出願
2/19~2/20	公立特別選抜入試
2/20~2/25	三者懇談 ○公立高校(一般選抜)の出願校を決定します。
2/27(水)	公立特別選抜入試合格者発表
2/28(木)	ありがとうを歌う会
3/1(金)	公立一般選拔出願
3/11(月)	公立一般選抜入試
3/14(木)	卒業式
3/19(火)	公立一般選抜入試合格者発表

★就職希望者は別の流れになります。詳しくは担任の先生または就職担当の織田先生に聞いてください。

冬休み中に取り組むことについて

1. 過去の入試問題に取り組むこと

公立・私立ともに「入試の出題傾向」はあまり変わりません。この冬休み中に、受験校の私立高校・公立高校の過去の問題（2～3年分）を最低1回は取り組みましょう。目的は「出題傾向を知ること」と「自分の学習課題を見つけること」です。例えば数学では3学期に学習する範囲が残っていますので、まだ解けない問題があってもおかしくありません。一方、学習済みの範囲でも解けない問題があるはずですが、しかし、焦っても仕方ありません。それは当然のことと受け入れたうえで、「日々の学習の積み重ねが受験勉強だ」という考え方で学習を続けていきましょう。

2. 通学ルートおよび入試当日のルートを確認すること

高校入学後の電車・バス・自転車による通学ルートを確認し、実際に足を運んでみましょう。高校入学後の自分がイメージでき、「受験勉強を頑張ろう！」という気持ちになれるはずです。また、入試当日は万が一に備えて、自転車は使わず、電車・バス等の公共交通機関を利用するように五中では指導しています。公共交通機関を使って入試当日の朝を想定して行くことも練習しておきましょう。

3. 体調管理に気を付けること

結局、一番大切なことは「体調管理」です。これからの時期は体調を崩しやすい時期だけに注意が必要です。入試当日に体調を崩しては実力を発揮できずということもありえます。「体調管理」とはどうすることか考えて冬休みを過ごしましょう。

4. 自己申告書の下書きについて

冬休みの宿題として自己申告書の下書きを出しています。公立高校受験者は必ず提出が必要なものなので場合によっては合否に関わるものですので、お家の人にも中身を見てもらい、誤字脱字がないかなどをチェックしてもらいましょう。

5. 私立高校の願書受領について

Web出願登録システムを使って願書作成をする人は冬休み中に入力を済ませます。そのとき、必ず「確認書」を印刷し1月8日（火）始業式の日に出願してください。この場合は、「確認書」の提出のみで構いません。紙願書による出願をする人は冬休み中（高校の都合もあるので12月28日ごろまでに）受け取りに行き、そのまま1月8日（火）始業式の日に出願してください。すでに説明会等に参加し、受領している人は冬休み中の受け取りは必要ありませんので、それを提出してください。一方、紙願書を受け取りに行ったがもらえなかった場合は早めに五中に連絡してください。高校に確認の上、五中で手配するようにします。